

## 上位計画・関連計画の整理



令和7年10月  
有田町 学校教育課

01

計画の全体像

02

まちづくりの方針

03

教育に関する計画

04

公共施設に関する計画

05

新設校整備に向けた視点

## 上位・関連計画の全体像

第2次有田町総合計画 後期基本計画

有田町のまちづくりの方針

有田町過疎地域持続的発展計画

有田町教育に関する計画

第2期有田町まち・ひと・しごと創生総合戦略

整合

整合

即す

整合

整合

有田都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針

有田町教育大綱

第3期有田町子ども・子育て支援事業計画

有田町の公共施設に関する計画

有田町公共施設等総合管理計画

有田町公共施設等個別施設計画(長寿命化計画)

有田町学校施設長寿命化計画

有田中学校統合基本構想・基本計画

## 第2次有田町総合計画 後期基本計画

策定年次：令和5年(2023年) 3月発行

目標年次：令和5年度(2023年)から令和9年度(2027年)

**将来像**：「ひとがつながり ひとがつどう 世界に誇れるまち 有田」の実現

**基本目標5**： みんなで共に学び共に楽しみ紡ぎ合うまち(文化・教育)

### 教育環境の整備

- ・ 中長期的な計画が必要で児童・生徒にとって、より良い教育環境の整備を目指す
- ・ 各学校においてコミュニティスクールを充実
- ・ 保護者や住民が学校運営に参画することを通じて、地域ならではの創意工夫

### 特色ある教育の推進

- ・ 体験活動・郷土学習の充実
- ・ ICTを活用した教育の推進
- ・ 保育所・幼稚園・小学校・中学校の連携
- ・ 生徒の総合支援を強化し、居場所づくり支援

### 施策の方向

- ・ 老朽化した学校施設の計画的な更新・整備
- ・ ICTを活用した教育の推進
- ・ 小中連携の充実による教育の連続性重視
- ・ コミュニティスクールを充実させ、地域と協働した学校づくりを推進

# 有田町のまちづくりの方針

## 有田町過疎地域持続的発展計画

策定年次：令和3年(2021年) 9月

目標年次：令和3年度(2021年)から令和7年度(2025年)

**基本方針**：「地域内外の人が、“行ってみたい、住みたい”と思えるまちづくり(移住・交流促進)」

**基本目標**：有田町全体において有田町人口ビジョンに沿った人口規模を維持する

### 教育内容の充実

確かな学力の充実 / 体験学習 地域学習の充実  
体力向上推進 / 情報教育の充実 / 英語力向上  
有田型STEAM教育の推進 / 職員の資質向上

### 教育環境の整備

- ・学校施設・設備の計画的な整備
- ・PTAや地域との連携による学校施設通学路などの安全点検
- ・コミュニティスクールの推進

### 施設整備の充実・有効活用

- ・図書館機能の充実
- ・体育館施設等の有効活用 / 充実

### 事業計画 学校教育関連施設

小中学校

校舎整備事業 / 施設照明LED化事業 / 施設空調整備事業 / 屋内運動場照明LED化事業 / 給食施設調理器具類整備事業

中学校給食室空調整備事業

### 施策の方向

- ・確かな学力、体力、英語力、情報活用能力向上
- ・有田型STEAM教育の推進とグローバルな人材の育成
- ・GIGAスクール構想の推進
- ・学校施設、設備の計画的な整備

## 第2期有田町まち・ひと・しごと創生総合戦略

策定年次：令和2年(2020年) 3月

目標年次：令和2年度(2020年)から令和9年度(2027年)

### 基本方針

：豊かな人間性を育み、国際感覚や情報化など時代に即した知識や技術を有する児童、生徒を育成  
子供たちが有田を誇りに思い、夢や志を持って生きる力を育む教育環境づくりに取り組む

### 基本目標3

：若い世代が希望を持って結婚・出産・子育てできる環境をつくる

### 教育環境の整備

- ・ICT機器等の機能の充実 / 支援の充実
- ・より良い学習環境の整備
- ・適正規模、適正配置に向けた検討

### 特色ある教育の推進

- ・ふるさとを学び、ふるさとを知る教育
- ・地域の力で応援する教育
- ・外国語教育の充実(ALT活用など)

### 教育の振興

- ・学校の適正規模 / 適正配置について検討
- ・余裕教室は子育て支援や社会教育の場として活用
- ・学校教育だけではなく、防災や地域活性化の重要な施設

### 施策の方向

- ・ICT機器を活用し質の高い指導が行える教育環境の整備
- ・児童生徒数の減少を踏まえた学校の適正規模・適正配置の検討

- ・郷土学習やコミュニティスクールを通じた地域の力で応援する教育の推進
- ・防災や地域活性化の拠点としての学校施設の長寿命化

# 有田町のまちづくりの方針

## 有田都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針

策定年次：平成16年(2004年) 4月

**将来目標**：高齢者や子育て世代等すべての人に配慮した安全で安心し、快適に暮らせる良好な居住環境を備えたまち

### 道路の整備方針

- ・安全な歩行者空間の確保 / バリアフリー等
- ・市街地内における円滑な交通処理
- ・適切な配置を考慮

### 下水道の整備方針

- ・都市環境や居住環境の向上
- ・有田川水系といった公共用水域の水質保全
- ・公共下水道の計画区域の整備 / 普及率向上

## 自然的環境の整備又は保全に関する都市計画の決定方針

有田町区域の広域的な公園

歴史と文化の森公園 / 白磁ヶ丘公園

⇒災害時の避難地や日常生活における住民の身近なレクリエーションの場

歴史と文化の森公園

⇒有田都市計画において以下の通り位置づけられている

- ・日本の磁器発祥の地としての史跡の保全と活用を図る広域的な公園
- ・本区域の広域的な公園としての機能の充実を図る
- ・窯業の伝統を伝え、豊かな自然的環境と調和した自然・レクリエーションの拠点

### 施策の方向

・安全な歩行者空間の確保やバリアフリーに  
配慮した道路整備

・災害時の避難地としての役割も担う公園・緑地等  
の整備

## 有田町の教育に関する計画

### 有田町教育大綱

策定年次：2022年度

目標年次：2025年度

**基本理念**：「世界に誇れるまち 有田」をつくり、地域を支え、豊かな伝統・文化を継承していくのは「人」

**基本方針**：「つなぐ」「つどう」「かたる」を重視した教育の推進

#### つなぐ(未来へつなぐ)

- ・子どもたちの**学びの連続性**を重視
- ・地域を誇りに思い、**歴史と伝統ある郷土を愛する子どもの育成**を充実

#### かたる(かたり合い、互いを尊重する)

- ・リアルコミュニケーションを図る
- ・かたり合い、**互いを尊重する**

#### つどう(つどい、信頼関係や考えを深める)

- ・互いにつどい、結びつくことにより**好循環**が生まれ、活性化につながる
- ・**信頼関係や考えを深める**

#### 施策の方向

- ・幼保小中高大の連携強化による**学びの連続性の重視**
- ・学校、家庭、地域、行政が**つどい、信頼関係を深める**
- ・自ら課題を探し、解決に挑む**次世代型人材の育成**



## 有田町の教育に関する計画

### 第3期有田町子ども・子育て支援事業計画

策定年次：令和7年(2025年) 3月

目標年次：令和7年度(2025年度)から令和11年度(2029年度)

**基本理念** : 子育て!!根っこから笑顔で支えあう有田町 ～オール有田で子育てサポート～

**基本目標3** : 子どもの健全育成のための教育環境の整備

#### 生きる力を育む教育の推進

- ・健康 / 体力の維持推進
- ・人権教育の啓発
- ・伝統文化体験の充実

#### 子どもを取り巻く健全な環境づくり

- ・教育講演会の開催支援
- ・健全育成環境の維持に取り組む

#### 子どもの健全育成

- ・放課後子ども教室
- ・いじめ / 不登校等の相談体制の充実
- ・教育支援センターの設置、運営

#### 施策の方向

- ・生きる力を育む教育(伝統文化体験等)の推進
- ・放課後子ども教室の実施

- ・いじめ / 不登校等の相談体制の充実と教育センターの運営

# 有田町の公共施設に関する計画

## 有田町公共施設等総合管理計画

策定年次：平成28年(2016年)6月策定、令和6年(2024年)2月改訂

目標年次：平成28年度(2016年度)から令和17年度(2035年度)

**基本原則**：公共施設等の「量」「質」「コスト」の見直し

**削減目標**：現在保有している**公共施設(建築物)の保有総量**を今後20年間で、延床面積ベースで約12%(1万m<sup>2</sup>以上)**縮減**

### 管理に関する基本方針

- ・有田町学校施設長寿命化計画(R3.3)に基づき、適正な維持管理を行う
- ・施設の老朽化に伴う対策費用の確保が課題であり、中長期的な維持管理費用の縮減と予算の平準化が重要
- ・日常点検と定期点検により、劣化や不具合箇所を早期に発見
- ・児童数、生徒数の動向、地域の意向を踏まえ、学校の適正規模・適正配置について検討
- ・余裕教室は、子育て支援や社会教育の場としての活用など、柔軟な活用方法を検討
- ・施設の維持管理は、地域に開かれた学校づくり、地域活性化の拠点としての学校施設利用の観点を加味し、NPO団体等の民間活力の活用体制を検討

### 施策の方向

- ・長寿命化改修を基本とした中長期的な維持管理費用の縮減と平準化
- ・学校の適正規模・適正配置の検討
- ・余裕教室の子育て支援や社会教育の場としての活用検討
- ・地域活性化の拠点として民間活力の活用を検討

## 有田町の公共施設に関する計画

## 有田町公共施設等個別施設計画(長寿命化計画)

策定年次：令和3年(2021年) 3月

目標年次：令和3年度(2021年度)から令和12年度(2030年度)

## 計画の位置づけ

： 上位計画である「有田町公共施設等管理計画」と整合を図った公共建築物の個別施設計画

## 個別施設計画の基本方針

## 予防保全型維持管理への転換

- ・ 計画的な維持管理への転換
- ・ 定期的な施設の点検・診断

## 施設の長期活用と対策費用の平準化

- ・ 施設の目標使用年数を設定
- ・ 直近10年間の事業計画を策定
- ・ 財政負担の軽減を図る

## ライフサイクルコストの縮減

- ・ 予防保全的な修繕や仕様のグレードアップ
- ・ ライフサイクルコストの縮減を図る
- ・ ランニングコストの削減(省エネ対応設備導入)

有田中学校 (RC 築37年)：広範囲に劣化

西有田中学校 (RC 築50年)：緊急の対策が必要

## 施策の方向

- ・ 計画的な維持管理への転換と対策費用の平準化
- ・ 省エネルギー対応設備等の導入によるランニングコストの削減
- ・ 西有田中学校は緊急の対策が必要と評価されている(現状)

# 有田町の公共施設に関する計画

## 有田町学校施設長寿命化計画

策定年次：令和3年(2021年) 3月

目標年次：令和3年度(2021年度)から令和12年度(2030年度)

### 計画の位置づけ

： 「第2次有田町総合計画」「有田町公共施設等総合管理計画」などの上位計画と整合性を図り  
今後の学校施設の改築や改修、修繕の指針となる計画

### 現状と課題

#### 施設の老朽化

- ・ 今後、老朽化対策として多額の費用が集中

#### 児童・生徒数の減少

- ・ 少子化により児童・生徒数は減少傾向
- ・ 多くの学校が小規模校になる

#### 財政状況

- ・ 厳しい財政状況の中、学校施設の整備を集中的に行うことは困難

### 施設整備の基本方針

#### 長寿命化改修の推進

- ・ 計画的な「予防保全」へと転換
- ・ 建物の耐久性や性能を向上させる長寿命化改修

#### 目標使用年数の設定

- ・ 築80年まで使用することを目標

#### 整備水準

- ・ 安全性、耐用性に加え、多様な学習形態への対応
- ・ バリアフリー化、省エネ化(性能向上)

#### 学校規模・配置

- ・ 将来的には学校規模の適正化の検討が必要

### 施策の方向

- ・ 築80年まで使用することを目標

- ・ 安全性、耐用性に加え、多様な学習形態への対応やバリアフリー化、省エネ化(性能向上)

- ・ 将来的に学校規模の適正化の検討が必要

## ◎ 上位・関連計画から求められる新設校整備に向けた視点(キーワード)

### 視点1 安全・安心で持続可能な教育環境

- ✓ 老朽化対策としての**長寿命化**と災害に備える**防災機能の強化**
- ✓ バリアフリーにも配慮した**通学路の安全確保**
- ✓ 予防保全を取り入れた**ライフサイクルコストの縮減**と財政負担の平準化
- ✓ 今後の生徒数減少を見据えた**適正規模・適正配置の実現**

### 視点2 新しい時代を生き抜く力の育成

- ✓ ICT(情報通信技術)を基盤とした質の高い指導と**STEAM教育の推進**
- ✓ 英語教育の充実など、**グローバル社会への対応**
- ✓ **小中連携**による義務教育9年間を通した**学びの連続性の確保**
- ✓ 不登校支援など、**多様なニーズへの対応**と、個を尊重する教育の推進

### 視点3 地域と共に歩む学校づくり

- ✓ 保護者や住民が学校運営に参画する**コミュニティスクールの推進**
- ✓ 郷土学習などを通じた、地域の豊かな人材や文化といった**教育資源の活用**
- ✓ 学校を防災、社会教育、多世代交流など**地域活性化の拠点**として活用
- ✓ 生徒数減少による**余裕教室**の子育て支援などへの**多目的活用**

安全・安心の確保

持続可能な施設経営

教育内容の高度化への対応

一人ひとりを大切にする教育

地域連携・協働の推進

地域活性化への貢献